

# 出版ダイジェスト

社団法人 出版者協会 出版ダイジェスト社 発行人 鈴木 肇 <http://digest-pub.net>  
毎月3回(1日・11日・21日)発行 購読料1ヵ年=送料共1,575円(税込) 郵便振替 00190-395516  
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-28-13ラフィオネお茶の水805 電話03-3292-2323 FAX03-3292-2325

## 農文協図書館 創立20周年記念特集号 —食と農、教育の情報拠点—

### 訪ねてみたい図書館の条件 百三歳の館長がいる居心地のいい場所

農文協図書館常務理事 今村奈良臣

訪ねてみたいと思う図書館は、三つの要素を備えている。個性、利便性、快適性の三つである。

#### 専門図書館としての光る個性

まず、図書館はきらびと立派な個性をもったものでなければ魅力がない。もちろん、何でも有り、と、普遍性を持つことが図書館の使命という考え方もあるが、そうした役割は国会図書館をはじめ一般公共図書館に任せておけばよい。

農文協図書館は、民間のもき

わめて小さな図書館であるが、他では見られない個性を持っている。蔵書数は約七万冊にすぎないが、農業、農村、食料・食語、さらに食農教育にかかわる文献は広く網羅している。そういう個性を持った民間の図書館は他に類例を見ない。

#### 近藤康男先生など個人文庫の収蔵・公開

しかし、農文協図書館の特徴はそれだけに止まらない。わが国を代表する農業問題研究者、農学生研究者、農業技術研究者あるいは農業ジャーナリ

近藤康男先生の「近藤文庫」があることで、簡潔に紹介しておきたいと思う。農文協図書館の個性を知ろうと、手掛りとなることを考えるのである。「近藤文庫」近藤康男東京大学名誉教授、農文協図書館理事長から寄贈を受けた二万三千余点の文献、図書、資料等で構成されており、分類した



「近藤文庫」を見る103歳の近藤康男農文協図書館理事長



がって整理する(次のようになっている)。

- ①農業恐慌、経済更生運動、畜産、林野農地改革、産業組合、農協、金融、保険、「農地改革願末概要」など。
- ②経済学全般、農業経営、農政経済論集、畜産など。
- ③人口、労働、肥料、水利、食料、米、麦、圃芸、たばこ、地方別資料、各種研究・調査機関刊行資料など。
- ④世界経済(英、独、米、ソ、東南アジア、台湾、満州、中国、朝鮮)、チューネン「孤立国」関係文献
- ⑤統計学、農林統計、農林業センサス、農家経済調査、作物統計、水産統計など。

#### 図書館のもつ宝 がいきる利便性

さて、いくら個性のある立派な図書館でも利便性に欠けず、宝の持ちかたにすぎない。しかし、農文協図書館はまずその立地にすぐれている。JR中央線及び井の頭線の吉祥寺駅からバスで五分の閑静な住宅地の中にある。そして入館料は無料で利用者として登録だけしておけば、開架式の館内は自由に利用できるし、貸出しも一入一カ月五冊まで可能である。開架式個人文庫も一定の条件のもとに利用できる。さらにインターネットのホームページ(<http://www.rurainet.or.jp/nklib/>)で全国どこでも検索が可能。

#### 研究者が太鼓判 を押す快適性

図書館のいま一つの要件は快適性に富むことである。農文協図書館は特にこの点にすぐれている。利用者の多くは研究者であり、明るく、小じまりとしていたが、たりのした個室まで伸び伸びと研究できるのは、一度利用してみれば判るべきである。

その最後に特筆すべきことは、この農文協図書館の理事長であり館長であるのは、今年満百三歳を迎えられた近藤康男先生であるということである。先生は一九九年一月一日のお生れであるので、二〇〇二年一月二日に満百三歳になられた。しかも、高井戸の御自宅から電車、バスを乗り継いで、今でも週三日出勤されている。農文協図書館はそういう個性も持っている。

- ⑥各省統計書、農林予算、農業白書など。
- ⑦日本農業経済学会学芸誌、その他関連学会学芸誌、会報、所報など。
- ⑧農民運動史、農史、土地制度史、団体史、市史、日本農業発達史、食管史、伝記など。
- ⑨その他他次刊行物など(先生が永らく編集代表をつとめた「農村と都市をむすぶ」を含む)。